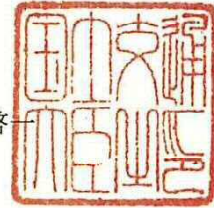


認定書

国住指第739号
平成30年6月22日

フネンアクロス株式会社
代表取締役 深堀 光二 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第68条の25第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第129条の2の5第1項第七号ハ（防火区画貫通部1時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-0998
2. 認定をした構造方法等の名称
遮音材付給水管・排水管繊維混入セメントモルタル被覆合成樹脂管／セメントモルタル充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

遮音材付給水管・排水管繊維混入セメントモルタル被覆合成樹脂管／セメントモルタル充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項目		仕様
開口部	形状	円形(φ300mm以下)
	面積	0.0707m ² 以下
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の総合計の割合)		66.7%以下
貫通する壁の構造等		A L Cパネル又は鉄筋コンクリート造 厚さ 75mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項目		仕様	
遮音材(あり又はなし)	A	材料	合成樹脂張多孔質材 構成：①～④の組合せ ①アクリルメラミン系樹脂(あり又はなし) 厚さ：非公開 ②片面アルミニウムはく張ガラスクロス 厚さ：非公開 ③遮音シート：塩化ビニル樹脂シート(非公開：あり又はなし) 密度：非公開 厚さ：" ④吸音材：a)又はb) a)軟質ポリウレタンフォーム再生材 密度：非公開 厚さ：" b)ポリエステル樹脂フェルト(非公開：あり又はなし) 密度：非公開 厚さ：" 厚さ 非公開
		使用箇所	貫通部、一般部及び継手部
		B	合成樹脂張多孔質材 構成：①～③又は①～⑤の組合せ ①PET 厚さ：非公開 ②アルミニウムはく 厚さ：非公開 ③塩化ビニル樹脂シート 厚さ：非公開 ④遮音シート：塩化ビニル樹脂シート(非公開：あり又はなし) 密度：非公開 厚さ：" ⑤吸音材：軟質ポリウレタンフォーム再生材 密度：非公開 厚さ：" 厚さ 非公開
充てん材	材料	セメントモルタル	
	組成(質量%)	普通ポルトランドセメント	25(±5)
	充てん量	細骨材(砂)	75(±5)
		隙間に密に充てん(壁厚方向75mm以上)	

表3 配管の仕様

項目		仕様			
配管 (排水管)	直管 (耐火二層管)	外管	材料	繊維混入セメントモルタル	
			形状	円筒又は半割	
			組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント	75 (±7)
				無機質混和材・軽量骨材	21 (±6)
				有機質繊維	4 (±1)
				但し、無機質混和材： 非公開 無機質軽量骨材： 〃 有機質繊維： 〃	
		密度	非公開		
		寸法	近似外径	φ37～φ245mm	
			近似厚さ	5.5～8.5mm	
		表面処理材	材料	あり又はなし アクリル樹脂系	
質量	非公開				
内管	材料	種類：①又は② ①硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741、JIS K 6742) (VP、HIVP又はVU) ②耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6776) (HT)			
		寸法	寸法 φ216mm以下 厚さ 11.0mm以下		
	形状	シート又はリング			
空間成形材	材料	あり又はなし ①～④の一又は組み合わせ ①合成樹脂 (非公開) 厚さ： 非公開 ②発泡プラスチック (非公開) 厚さ： 非公開 ③合成樹脂張多孔質材：①～④の組み合わせ 1) アクリルメラミン系樹脂 (あり又はなし) 厚さ： 非公開 2) 片面アルミニウムはく張ガラスクロス (あり又はなし) 厚さ： 非公開 3) 遮音シート：塩化ビニル樹脂シート (非公開)：あり又はなし 密度： 非公開 厚さ： 〃 4) 吸音材：a) 又はb) a) 軟質ポリウレタンフォーム再生材 密度： 非公開 厚さ： 〃 b) ポリエステル樹脂フェルト (非公開)：あり又はなし 密度： 非公開 厚さ： 〃 ④人造鉱物繊維保温材 (JIS A 9504) 密度： 非公開 厚さ： 〃			

つづく

つづき

配管 (排水管)	管継手 (耐火二層管)	外管	材料	繊維混入セメントモルタル	
			組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント	45(±5)
				無機質骨材・無機質混和材	50(±6)
				有機質繊維	5(±1)
				但し、無機質骨材：	非公開
		無機質混和材：	〃		
		有機質繊維：	〃		
		密度	非公開		
		寸法	近似外径	φ47～φ264mm	
			厚さ	5.5～18.5mm	
内管	材料	種類：①～⑦の一			
		①硬質ポリ塩化ビニル管排水継手(塩化ビニル管・継手協会規格 AS 12) (VP、VU) ②硬質ポリ塩化ビニル管継手(塩化ビニル管・継手協会規格 AS 10) (HIVP、VP、VU) ③屋外排水設備用硬質塩化ビニル管継手(塩化ビニル管・継手協会規格 AS 38) (VU) ④排水用硬質ポリ塩化ビニル管継手(JIS K 6739) (VP、DV) ⑤水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手(JIS K 6743) (TS、HITS) ⑥耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管継手(JIS K 6777) (HT) ⑦硬質ポリ塩化ビニル管継手(VU、VUDV) (呼び径150を超えた場合)			
	寸法	受口外径	φ230(+8)mm以下		
空間成形材	材料	あり又はなし			
		①～⑤の一又は組み合わせ			
		①合成樹脂()	非公開		
厚さ：	非公開				
②発泡プラスチック()	非公開				
厚さ：	非公開				
③合成樹脂張多孔質材：1)～4)の組み合わせ					
1)アクリルメラミン系樹脂(あり又はなし)					
厚さ：	非公開				
2)片面アルミニウムはく張ガラスクロス(あり又はなし)					
厚さ：	非公開				
3)遮音シート：塩化ビニル樹脂シート()	非公開	：あり又はなし)			
密度：	非公開				
厚さ：	〃				
4)吸音材：a)又はb)					
a)軟質ポリウレタンフォーム再生材					
質量：	非公開				
厚さ：	〃				
b)ポリエステル樹脂フェルト()	非公開	：あり又はなし)			
質量：	非公開				
厚さ：	〃				
④人造鉱物繊維保温材(JIS A 9504)					
密度：	非公開				
厚さ：	〃				
⑤紙板(セルローズ、パルプ)					
厚さ：	非公開				

つづく

つづき

カップリング継手 (あり又はなし)	本体 (ケーシング)	材料	ステンレス鋼板 (SUS304)	
		厚さ	1.2~2.0mm	
		寸法	外径：φ260mm以下、高さ：140.5mm以下	
	締付金具	材料	締付ボルト：鋼(鋼材、めっき処理品含む) 棒状ワッシャ：鋼(鋼材、めっき処理品含む) 棒状ナット：鋼(鋼材、めっき処理品含む) ヒンジ(あり又はなし)：鋼(鋼材、めっき処理品含む)	
		寸法	M16以下	
	パッキン材	材料	エチレンプロピレンゴム (EPDM)	
		寸法	厚さ：非公開	
	偏芯ソケット (あり又はなし)	材料	硬質ポリ塩化ビニル管	
		寸法	受口外径	非公開
			厚さ	非公開

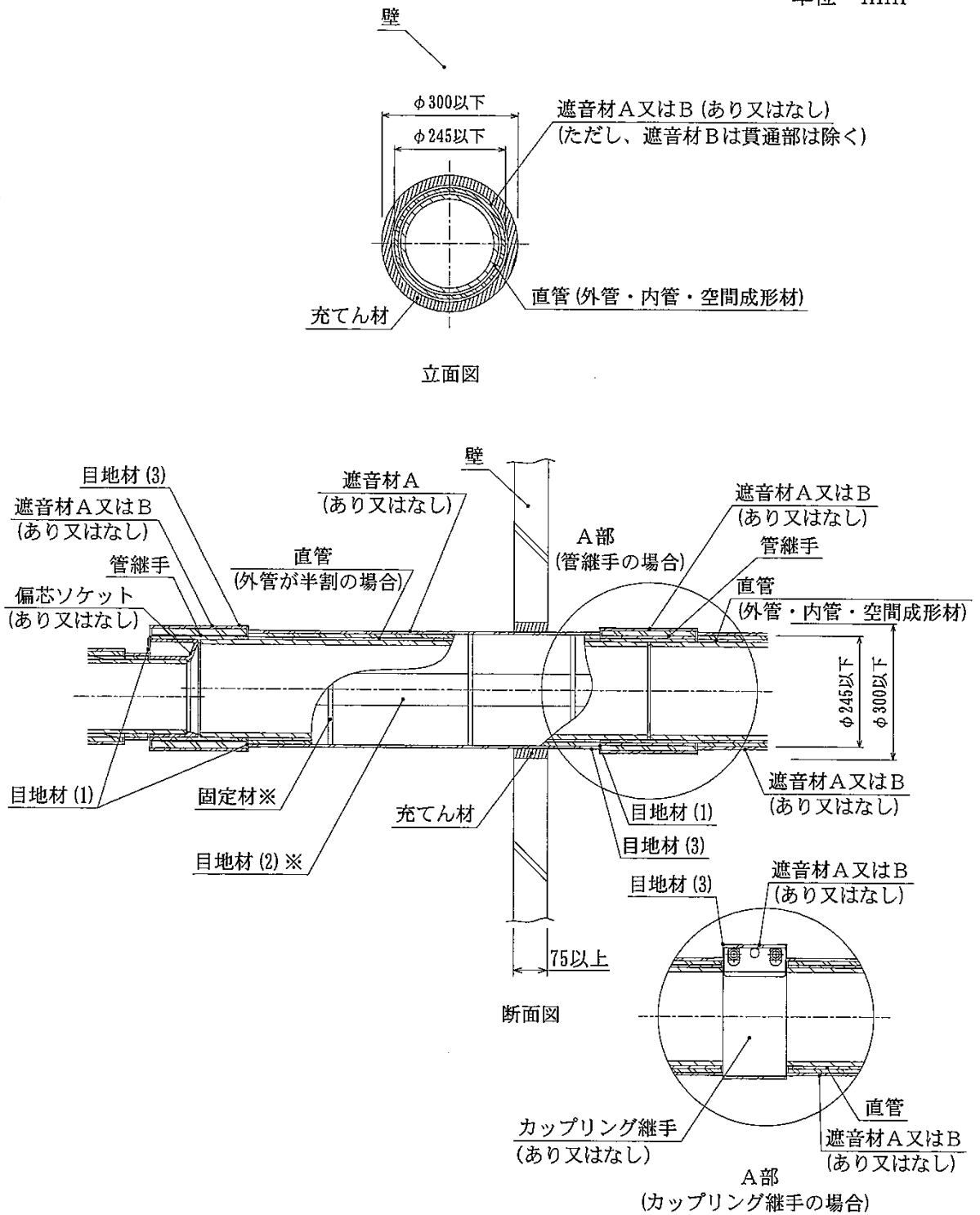
4. 副構成材料の仕様：
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目		仕様	
目地材	(1)	材料	熱膨張材
		組成 (質量%)	種類：①、②又は③ ① 非公開 ② 〃 ③ 〃
		寸法	総幅： 非公開 厚さ： 〃
	(2)	材料	片面アルミニウムはく張ガラスクロス付ポリアクリロニトリル繊維フェルト (粘着剤付) 構成：①、②、③及び④の積層 ① 非公開 ② 〃 ③ 〃 ④ 〃
		寸法	幅： 非公開 厚さ： 〃
		材料	片面アルミニウムはく張ガラスクロス (粘着剤付) 種類：①～③の組合せ ① 非公開 ② 〃 ③ 〃
	(3)	寸法	幅： 非公開 厚さ： 〃
		使用箇所	(1)：継手接続部 (2)：外管 (半割) 接続部・継手接続部 (3)：遮音材接続部
	固定材 (金属バンド)	材料	鋼 (鋼材、めっき処理品含む)
		寸法	幅： 非公開 厚さ： 〃
使用箇所		耐火二層管 (直管) の外管 (半割) 固定用	

5. 構造説明図：
 構造説明図を図1及び図2示す。

単位 mm



※外管が半割の場合に使用

図1 構造説明図(施工図)

単位 mm

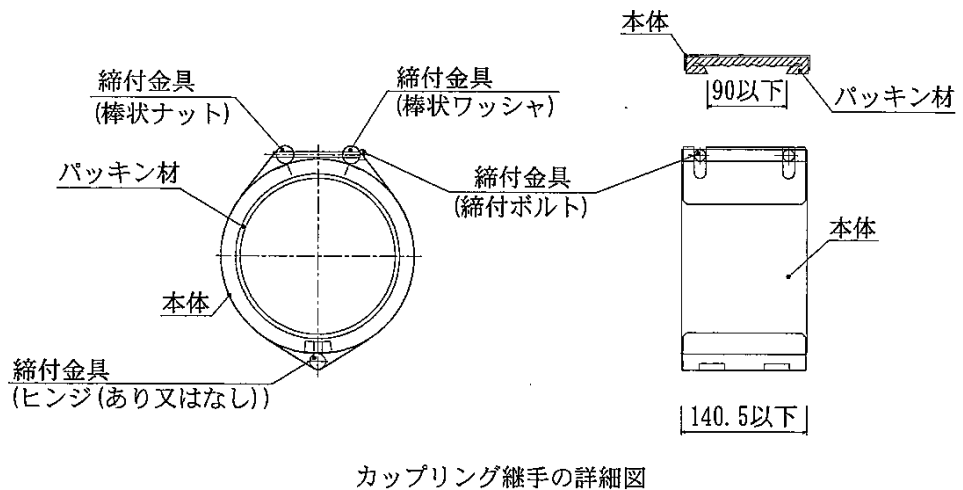
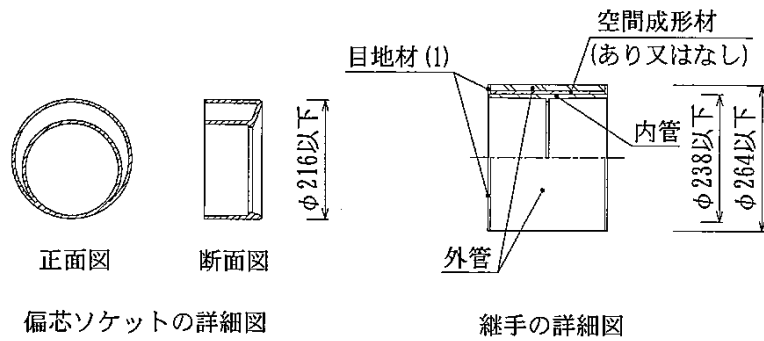
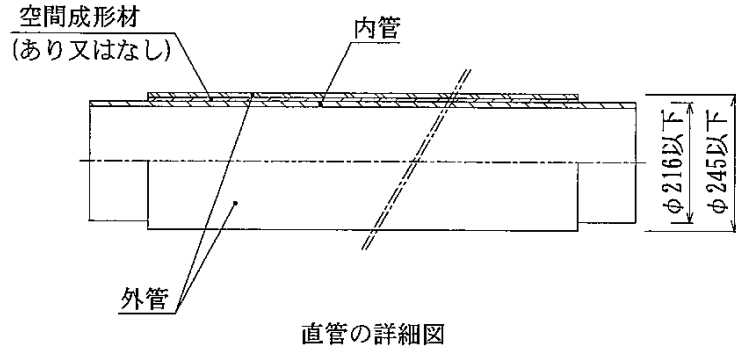


図2 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 開口面積、占積率の確認

配管図に基づき配管の設置状況及びサイズを調べ、開口面積・占積率を確認する。

(2) 貫通部の埋戻し

配管と壁の開口部を充てん仕様で隙間を生じないように密に充てんする。

(i) 充てん材(セメントモルタル)の調合

充てん材(セメントモルタル)はセメント25%：砂75%の割合で充分混合し、かつ水セメント比は必要最小限(50～60%)にて混練する。

(ii) 充てん材(セメントモルタル)落下防止板の取付け

必要に応じて壁面に充てん材(セメントモルタル)落下防止板を取付ける。なお、開口部周囲及び充てん材(セメントモルタル)落下防止板を水で湿らせる。

(iii) 充てん材(セメントモルタル)の充てん

開口部を水で湿らし、開口部全体を充てん材(セメントモルタル)で隙間が生じないように充てんする。使用量は、開口面積、配管の管サイズによって異なるため、遮炎性能を確保する深さ75mm以上の量とする。

(iv) 充てん材(セメントモルタル)落下防止板の取外し

充てん材(セメントモルタル)が充分固まってから、充てん材(セメントモルタル)落下防止板を取外す。

(3) 施工上の注意

直管の外管が半割施工の場合は、目地材(2)で合わせ面及び外管の両端を円周方向に手で押さえてしっかりと張付ける。また、金属バンドを用いて固定する。

(4) 配管支持

配管支持は、耐火二層管に定められた支持施工方法に準じて行う。